シリーズ⑤

縄文人の心と文化

～自然との共生を探る～

教育委員会　学芸員　角田隆志

縄文時代の貝塚からは、縄文人が食べた動物や魚の骨、貝殻、使った道具などがたくさん見つかります。

このような状況から、「貝塚＝ゴミ捨て場」のイメージが強いのですが、実はそうではありません。それは、貝塚からヒトのお墓が見つかるからです。

入江・高砂貝塚では、たくさんのヒトのお墓が貝塚から見つかっています。これらはすべて手足を折り曲げた状態で見つかることから、きちんと埋葬されたということがわかります。このことからもわかるように、縄文人にとって貝塚は単なるゴミ捨て場ではなく、神聖な場所であったと考えられます。

つまり、動物の骨や使った道具などは、命を終えたもの、役割を終えたものとしてヒトのお墓と同じように埋葬されたのかもしれません。

さて、お墓からは人骨が見つかりますので、縄文人に関していろいろなことがわかります。身長や顔の形、年齢、風習、何を主に食べていたかなど。

当時の病気のこともわかります。入江貝塚では、腕と足の骨が非常に細い人がみつかりました。人骨を調べた結果、小児マヒ（ポリオ）に感染した可能性が高いことがわかり、10数年間は介護を受けなければ生活することができなかったと考えられています。

このように自分の力で生活を支えることができないヒトが10数年間行き続けたという事実、命を終えて貝塚へと埋葬されたという事実は、当時の生活文化を知る上でとても重要です。

ポリオに感染した人骨
縄文時代後期（約4,000年前）

講習会第２弾！！

『はじめてのハンギングバスケット』

サミット開催を機に洞爺湖町では「花でおもてなし歓迎しよう！」と、町いっぱい花で彩られております。この度、講習会第２弾として「はじめてのハンギングバスケット」ということで、ハンギングバスケットの作り方の講習会を開催しますので、皆様も参加いただきご家庭に飾ってみませんか！

期　日：平成２０年８月２６日（火）
時　間：午後１時００分～　（２時間程度）
場　所：洞爺湖文化センター（天気が良ければ外で行います）
参加料：１，０００円
定　員：３０名
申　込：８月２０日（水）まで
洞爺湖町生活環境課環境整備係
ＴＥＬ　７４－３００６
ＦＡＸ　７４－２１２１
講　師：サンガーデン　土谷美紀氏
主　催：洞爺湖町花と緑の町づくり推進委員会